

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンターみどり			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 30日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・社会福祉法人としての総合的な支援体制	・入所施設、通所生活介護、居宅介護（ヘルパー）、相談支援事業所、居宅介護支援事業所（ケアマネ）を併設する社会福祉法人として、多岐にわたる福祉サービスを一体的に提供できる。	・特に、保護者の方々からは「複数のサービスを同じ法人内で利用できるため、安心して相談できる」「一貫した支援を受けられるので、将来の不安が軽減された」といった肯定的な声いただいている。今後もライフステージやニーズの変化に応じた切れ目のない支援を提供できるよう取り組んでいく。
2	・恵まれた活動環境（広い中庭・体育館の併設）	・敷地内に広々とした中庭と体育館が併設されたおり、日常の活動で積極的に活用できる。中庭では、季節を感じながら鬼ごっこやボール遊び、虫取り等の戸外活動を安全に行うことができる。体育館では、天候に左右されずに体を動かす活動（ボール運動、縄跳び、レクレーション、バトミントン等）を安全かつ十分に実施することができる。	・「広い場所で思いっきり遊べて安心」「体を動かす機会が多く助かっている」という声をいただきている。今後は、中庭の一部を栽培ゾーンにし、野菜やハーブ、花などを育て収穫の喜びや食育へもつなげていきたい。
3	・子どもたちが事業所での活動を楽しんでいる	・保護者も子どもたちみどりでの活動を楽しみにしてくれている。児童同士や職員との関わりを楽しむ様子があり、安心して過ごせる居場所となっている。	・児童の「やってみたい」気持ちを引き出すため、活動の選択肢を増やすなど主体的に参加できる工夫を行う。保護者からの声を取り入れ、児童が家庭でも話題にできるような楽しい活動を企画する。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会等、保護者同士の交流の場はあるが、きょうだい向けのイベント等の開催が少なかった。きょうだいへの支援の在り方。	・きょうだい支援に特化したプログラムやイベントの情報が不足していた。 ・きよだいの状況確認も不足していた。	・きょうだい支援の重要性、きょうだいが抱える感情、具体的な関わり方に関する研修等を実施し、きょうだいも楽しんで参加できるようなイベント（レク大会や夏祭り等）を取り組んでいく。
2	・放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	・他放デイ事業所との交流会は数回実施したが、児童館や学童等の交流は行ったことがない。児童館や学童と交流を持つ機会がない。	・今年度は、地域活動への参加、ネットワーク作りを行う。 ・学童や児童館と相互見学を行い、事業内容や支援対象について相互理解を深める場を設け、交流へとつなげていきた。
3			